



# 川崎大師ロータリークラブ 週報

会長 牛山 裕子  
副会長 坂東 保則  
幹事 布川 浩  
SAA 岩井 茂次

例会日:毎週水曜日 PM12:30~  
例会場:大本山川崎大師平間寺信徒会館  
事務局:〒210-0812 神奈川県川崎市川崎区東門前1-15-10 カーサ石井1F  
Tel.044-277-7569 Fax.044-288-8550  
URL <http://www.kawasakidaishi-rc.com/> E-mail:daisi-rc.1973@air.ocn.ne.jp

第2302回(本年度 第5回)例会 令和3年10月27日 一晴一

●司会 岩井茂次SAA

●点鐘 牛山裕子会長



●斉唱 「それでこそロータリー」  
須山文夫ソングリーダー



卓話者の紹介 牛山裕子会長

川崎市立高津高等学校 定時制教頭 矢島好信様(司会進行)  
川崎市立川崎高等学校 時制教頭 成田 滋様(引率)  
川崎市立橋高等学校 定時制教頭 大川一幸様(引率)

卓話者

川崎市立川崎高等学校 定時制3年 戸丸星藍さん  
川崎市立橋高等学校 定時制4年 水田堅さん



会長報告 牛山裕子会長

①台北西門RCからクラブ創立45周年事業としてグローバル補助金を活用した奉仕事業を計画し、当クラブパートナーとして協力するよう要請がありました。11月理事会へ上程し、その結果を11月例会にてご報告いたします。

②日本ロータリー創立100年記念誌、記念講演について日本ロータリークラブは昨年創立100年を迎えました。が、コロナ感染症蔓延のため、事業ができませんでした。



01ロータリー日本100年史が発行されました。クラブ事務局に置きますので、ご覧ください。特に別冊「100人のロータリアン・ロータリーの本棚」は面白いです。

02第50回ロータリー研究会 記念講演「ポストコロナの生命哲学」が12月8日(水曜日)15:00にオンライン配信されます。講演者は福岡伸一青山学院大学教授で生物学者です。ご興味のある方は掲示をご覧ください。

幹事報告 布川 浩幹事



①配布物

・本日、メールボックスに本年度会員名簿、クラブ定款・細則改正(案)を投函しましたのでご確認をお願いします。  
 ・受付に「川崎大師節分豆まき式」のパンフレットを置いてあります。ご協力をお願いします。

②掲示物

地区大会のご案内(変更版)がガバナー事務所より届いております。詳細はご案内を掲示板に掲示してありますのでご確認下さい。本年度は11月26日(金)・27日(土)にパシフィコ横浜で開催されます。

当初は会場参加対象者が原則会長・幹事と大会関係者のみで26日は女性会員も参加可能という形式でしたが、27日(土)は全会員の会場参加が可能となりました。

26日(金)は前回案内同様に、会長・幹事女性会員大会関係者のみ会場参加が可能。また、会場参加が可能となったため、YouTubeでのライブ配信は中止となりました。27日(土)は移動例会となりますので、当日12時頃受付周辺で例会を行います。皆様奮ってご参加ください。

③回覧物

・本日は川崎市内高等学校定時制の皆様による弁論をしていただきます。募金箱を回しますので会員の皆様からお礼としてお気持ちをいただければと思います。  
 ・11月11日(木)に開催される「3クラブ合同親睦夜間移動例会」のご案内を回覧致します。当日は日航ホテルにて18時30分点鐘です。本日締切りとなっておりますので回覧が来ましたら出席に○をお願いします。尚、本年度はアルコール類の提供は控えさせていただきます。

④次週11月3日(水)は祝日のため「休会」。また、再来週11月10日(水)も11日(木)に3クラブ合同親睦夜間例会のため、例会はありません。11月3日・10日は例会場には誰もいませんのでご注意ください。お間違えの無いようお願いいたします。

次回本会場での例会は11月17日(水)となります。

出席報告

奥山啓寛出席委員長

	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2302回	46	43	26	17	60.47%
2300回	46	43	28	15	65.12%
前々回の修正	メイクアップ	3名	修正出席率	72.09%	

メイクアップ

星野祐治会員、青山正彦会員。  
 コロナによるメイクが1名です。



スマイルレポート（ニコニコボックス）岩井茂次S. A. A.



布川浩幹事  
川崎市内高等学校定時制の皆様、本日は弁論を楽しみにしています。

牛山裕子会長  
本日卓話を下さる戸丸さん、水田さん、皆でしっかりと拝聴しますので、リラックスしてお話し下さい。御引率下さった先生方ありがとうございます。私共のクラブの例会をお楽しみ下さい。

本日のニコニコのテーマ  
「本日は川崎市内高等学校定時制の皆さんの弁論を楽しみにしています！」

平位 武会員	大谷 茂会員	石渡勝朗会員
早坂清裕会員	竹中裕彦会員	須山文夫会員
小泉敏和会員	横山俊夫会員	鈴木昇二会員
秦 琢二会員	船木幸雄会員	舞川扇彩会員
鈴木幹久会員	野澤隆幸会員	猪狩佳亮会員
青山正彦会員	奥山啓寛会員	岩井茂次会員
		合計21,000円

委員会報告

●親睦活動委員会 船木幸雄委員長



年忘れ家族会の打合せ（第4回目）11月1日 13時より行います。参加出来る方は私に連絡をください。よろしくをお願いします。

●社会奉仕委員会 舞川扇彩会員（内田委員長代理）



10月19日（火）に子ども食堂支援でお菓子の袋詰めと障害者がつくったキャンドルと石けんを配布致しました。内田委員長と石渡委員長と鈴木委員長・布川幹事と私舞川 以上五名参加。  
尚、内田委員長より是非これは言ってくれと言われました。  
「今後社会奉仕委員以外の方のものも是非興味をもっていただき、ご協力たまわりたい。」  
という事を、必ず伝えるという事で、賜っております。

●規定委員会 遠藤悦弘委員長

規定委員会は理事会より須山年度に改定変更のクラブ細則により奉仕委員長一人が従来の職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕を統括することは負担が重いので元の細則に戻して欲しい旨の提案をうけました。第1条第1節の役員と



卓話

矢島好信教頭先生



して次々年度の会長が1名、次年度の会長1名、副会長1名、幹事、会計、会場監督各1名その他に理事各2名ということで奉仕委員長という名前で1名と青少年奉仕委員長という名前で1名、計2名の理事を選任することになっています。これを以前の職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕、親睦活動の5名に変更していただきたいという話でしたので理事会に変更の提案を提出させていただきました。第1条第2節に直前より順次3名の会長を理事とするということになっています。これを直前より順次2名これを新たに2名が5名、それにエレクトが入りますと13名ということに減数する理事を5名にして元会長を2名の理事にするというスタイルになろうかと思えます。奇数にしなければならないというのでそのようにさせていただくと奇数になります。第8条の4節協同奉仕のところの下線が引いてある場所に新世代奉仕委員会という名前が残っていたのでこれを青少年奉仕委員会の現在の名前に変更してください。

牛山裕子会長

ご説明はご理解いただけましたね。奉仕委員会が元に戻るということです。理事会の人数は決議をするときに奇数でなければ決議できないので現行は11名ですが、各委員会の委員長が3名理事になりますので歴代の会長を2名にするということで調整して13名で理事会のメンバーが2名増えるということで御承認いただけますでしょうか。

<拍手多数>



市内高等学校定時制教育振興協会の理事をしています川崎市立高津高等学校 定時制 矢島と申します。本日は2302回例会おめでとうございます。また本日はこのような機会をご提供いただき誠にありがとうございます。また日頃より定時制教育振興協会に対しましては大きなご支援ご協力頂戴しまして心より感謝申し上げます。昨年はコロナ禍でいろいろ不自由な思いをしましたが、去る九月無事に市内定時制弁論大会を行うことが出来ました。本日は2名の生徒を引率してまいりました。最初にその生徒の弁論をお聞き下さい。

その後には教頭会を代表して私から簡単なお挨拶をさせていただきます。

まず川崎市立川崎高等学校 定時制教頭 成田滋様より戸丸星藍さんの紹介をしていただきたいと思います。

川崎市立川崎高等学校 定時制 成田 滋教頭先生



本校の戸丸星藍さんを引率してまいりました。本校は定時制といっても昼間部と夜間部の2つのコースがありま

す。昼間部の生徒は午後2時半くらいから授業をはじめて夕方5時半くらいに終わります。夜間部は5時40分くらいから授業をはじめて8時45分くらいに終わります。2つのコースがありますが今日引率してきた戸丸さんは夜間部の生徒の3年生です。生まれたのは平成15年で現在は17歳です。京町中学校の出身です。彼女に学校の今の様子はいかがですかということを書きいただきました。彼女は中学校の時には学校にあまり足が向かない不登校と呼ばれるような傾向のあった生徒ですが本校に入学後は3年間無遅刻、無欠席で通学しております。1年生の時から生徒会本部役員として、高校は体育祭や文化祭など大きな行事の企画・運営は生徒会の生徒を中心に作っていきます。彼女はそのような行事をすすめていく上で生徒会本部役員として活躍してくれています。趣味は音楽をきくことと料理をすることで得意な料理はポトフとミートソースだそうです。卒業後の進路は進学したいと考えていますが経済上難しいかもしれないので、就職するか進学するかを迷っています。定時制は基本的には学校に4年間通います。あと1年間進学か就職かを悩みながら学校生活を送っているということです。将来の希望の欄には親孝行をしたいと書いてあります。自己アピールとしては真面目なところだと思いますと書いてあります。彼女が1年生に入学した時からのことを話したことがあります。彼女が私などと話をするときもきちんと敬語をつかって話が出来る真面目な生徒だなという印象をもっている生徒です。今から彼女の弁論をお聞き下さい。



継続することを意識してものごとを続けていると、だんだん、そのことが普通になっていきます。そして、別のことに挑戦してみたいくなるのです。学校に毎日通うことが普通になった私は、新しいことに挑戦してみようと思いました。

私が挑戦してみたのは、生徒会への立候補や検定への受検、アルバイトなどです。生徒会活動では、司会をやらせてもらいました。司会をすることが初めてだった私にとって、とても良い挑戦になりました。

ですが、挑戦したことの全てに成功したわけではありません。

私は去年、短期アルバイトとしてお蕎麦屋さんで働きました。ホールを担当することが初めてだったのでたくさん失敗をしました。伝票の書き方やお皿の下げ方、手が空いた時にしなければならないこと。できないことだらけでした。お皿やコップを割ってしまったこともあり、もちろんお店の人にはたくさん怒られました。でも、最終日まで働き続けることができました。

それはお客さんが、なれない私を見て、「頑張っ！来年も来るね」と声をかけてくれたからです。その言葉を聞いて、やったことがないことに挑戦してよかったと思いました。そして、最終日に店長から「よく働いてくれたよ、また今度よろしくね」と言われて、続けていたことが認められて、最後までやってよかったと思いました。たとえ失敗してしまったとしてもその挑戦を見てくれる人は必ずいます。また、挑戦したこと自体が力になったと感じています。継続して、そして挑戦してよかったと感じました。

他にもよかったことはあります。挑戦したことで人との関わりが増え、自然と周りが見えるようになったことです。そしてその大切さと優しさに気づくことができました。学校の友人、先生、先輩、アルバイトの人たちやお客さん。そしてなにより、学校に通えていなかった当時は気づくことができなかった、家族の優しさです。

母は、私の趣味に合わせようとしてくれました。外出できるようにと外行き用の服を買ってくれたこともあり、自らの時間をさいて私を理解しようとしてくれま

川崎市立川崎高等学校定時制 3年 戸丸星藍さん

### 「大切にしていること」

私が大切にしていることは、継続することです。今、継続していることはいくつかあります。まずは、その中でも一番大切にしている、学校へ行くことについての話をしたいと思います。

私は高校に入学するまで学校に通っていませんでした。高校に入ってからも、休みたい、行きたくないと思うときがありました。それは、学校で嫌なことがあった次の日や、アルバイト先で失敗した時などです。

そんな時、私は休んで何をするかを考えることにしました。考えて思い浮かんだ自分は、なまけている自分でした。自分を情けなく思いました。このままでいたくないと思いました。変わりたいと思いました。くやしい。逃げたくない。

それなら、学校に行ったほうが自分のためになるのではないか、という考えになりました。そして、学校に行きたくないと思うときでも、通い続けることができるようになりました。そうやって私は、継続することを意識的に行動することで、毎日学校に通えるようになりました。

した。姉も、不満ばかりだったと思います。それでも私が、何かに困ったときには、助けてくれました。父に怒られたときには慰めてくれました。こんな私を大切にしてくれました。だから私は、これまでかけた分の心配と不安を、少しずつでも、安心に変えていきたいと思っています。

私はこの夏休みに、料理をすることに挑戦しました。私の母は遅くまで仕事をして疲れて帰ってきます。何かできないかなという気持ちから、料理を始めました。祖母に教わって少しずつできるようになり、家族も美味しいと言ってくれました。母も「ありがとう、楽になったよ」と言ってくれました。よかったと思いました。そして、できなかったことができるようになったことも、よかったと思いました。

今、私には、新しく挑戦したいことがあります。それはたくさんの本を読むことです。たくさんの本を読み続けることで新しい知識を身につけ、自分の知る世界を広げたいと思ったからです。

継続することは正直難しく、面倒だと感じる時もあります。ですが、続けていれば、それは信頼に変わります。そして、自分の助けになったり、周りの人を不安にさせずに済むと考えています。新しいことへの挑戦は、自分の力になるものでした。

私は、これからも継続することを大切にしていきたいと思っています。

そして、これからも新しいことに挑戦していきます。

川崎市立橋高等学校 定時制 大川一幸教頭

定時制教育に関して日頃よりご理解ご協力頂きありがとうございます。本校は川崎市内の定時制の中では一番古く創立が昭和23年になります。近年中学3年生の卒業人数が年々減少していますが定時制高校もあおりをうけ本校の在籍生徒は現在111名です。生徒数は年々減少していますが本校は部活動がとても盛ん、行事、学習もまじめに取り組んでいる学校で全力で皆様に対して自慢ができるような定時制学校だと思っています。本日弁論を発表してくれます本校4年生 水田堅さんです。住吉中学校出身で18歳です。とてもきまじめな生徒で、正確は明朗快活で何事にも一生懸命取り組みます。2年生頃から学校運営の中心となる生徒会役員をつとめていただき現在は30日土曜日に文化祭が行われます。好奇心もとても旺盛で、部活動はバレーボール部、バドミントン部、軽音学部の複数に所属しています。今年の夏、バレーボール部男女、野球部、陸上部の3部が全国大会に出場しています。水田さんはバレーボール部のレギュラーとして全国大会に繋がる県予選を見事に突破していただき8月に行われました定時制通信制の全国大会では前回の優勝校である天理高校をフルセットの末倒し決勝に進みました。決勝戦では僅差で2vs1のフルセットで敗



れてしまいました。全国2位準優勝。チームのムードメーカーとして大躍進の原動力となっていました。誰にでも優しく平等に接してくれる生徒です。旧友のみならず先輩、後輩からもとても慕われ我々教員からもとても信頼されている大事な生徒です。それでは水田さん弁論をよろしくお願いします。

市立橋高等学校定時制 4年 水田 堅さん

「課せられた使命」

1945年、8月6日。広島に原子爆弾

「リトルボーイ」が投下。同年8月9日。広島に続いて長崎にも原子爆弾「ファットマン」が投下され、二つの町は焼け野原へと変わった。

その後、アメリカ軍機は名古屋、大阪などの大都市を次々に爆撃し、さらには、ここ川崎にも29機が襲来。その数何と照明弾90発、通常爆弾72発、破碎爆弾98発焼夷弾に至っては、これらを遥かに超える12748発が投下された。

誰が想像しただろうか。これらが頭上に飛来し、すさまじい光が目を通したかと思ったら次の瞬間にはおびただしい数の爆弾が大雨のごとく降ってくるのだ。当時町にいた人たちの平穏な生活、暮らしは次々に降ってくる容赦ない爆撃によって一瞬で奪われた。

私は小学6年生のとき、ここ川崎にも爆弾が落ちたと聞き、当時実際に被爆した方の話を聞いた。そして、その話を聞いた日から、私は日本に爆弾を落としたその国を憎んだ。

しかし、過去の歴史のことを学ぶにつれて、必ずしも日本を攻撃した国だけが悪いわけではないと思うようになっていった。

そもそも、なぜ戦争を起こさなければならなかったのだろうか。それは人間の「欲」、特に「強欲」が生み出したものだと私は考える。



矢島好信教頭先生

川崎市立高津高等学校 定時制教頭 矢島と申します。本日はこのようなお時間を頂戴し本当にありがとうございます。生徒にとってはとても貴重な体験となり大きく成長する機会となった事と思います。感謝申し上げます。このような定時制に通う生徒の活動を支援する団体として定時制教育振興会がご 있습니다。この団体はかつて高度成長期の頃には企業の方々が運営しておりましたが、私たち近年定時制教頭会が引継ぎ活動しております。現在定時制には様々な家庭環境の生徒が通っております。一人親世帯や非正規労働、生活保護受給世帯など生活苦に直面している家庭の生徒、中にはアルバイトで稼いだお金を家に入れている生徒も目立ちます。今回お聞き頂いた弁論で大会の実施する活動資金が必要となっております。この他にも芸術活動として毎年年初にはアゼリアギャラリーにおいて定時制作品展を開催しております。今年度は年初1月7日から20日までの期間で実施します。もしお時間がございましたらお運び頂ければ幸いです。また先ほど大川教頭から話がありました通り体育活動かなり頑張っております。全国2位というのは本当に普段の努力の賜です。そういう部分についても交通費、宿泊費定時制はなかなか捻出が出来ないです。以前私も定時制の教員で働いていた時にカンパで宿泊費をなんとかしたというのを覚えております。この定時制教育振興会多大なバックアップを頂戴してありがたく思っております。また川崎大師RCの皆様方からは大きなご芳志頂戴しましてこちらは定時制生徒のために有効に活用させて頂きたいと今後とも定時制教育へのご理解ご支援たまわりますよう何卒よろしくお願い申し上げます。以上で卓話の弁論並びに振興会への継続加入の御礼とさせていただきます。本日は本当に貴重なお時間いただき、またご静聴たまわりありがとうございました。

まず、その例の一つとして挙げられるのは「食糧」や「資源」の奪い合いからなる争いではないだろうか。古来人類は、食糧を求めて移動を繰り返し、その先に先客がいたならば、生き延びるためには食糧を手に入れなければならない、争いが始まる。それは、さらに文明が発展しても変わらず、人々の生活は豊かになるが、その生活を維持し、さらに発展させるべく、新たな資源を求めるようになる。その手段として戦争が起こるのだと思う。また、自国の国家繁栄を目的に。故意に他国を挑発し、戦争に持ち込むということもある。これは、ある程度、その相手国に対して、武力的・経済的・政治的に有利であることが前提にあると思う。いずれにせよ、どれも非人道的行為であり、戦争を起こしていい理由などにはならない。広島・長崎への原爆投下や沖縄の地上戦などで、数えきれないほどの命が奪われた。それは日本だけでなく、アメリカなどの諸外国においても同じことが言えるであろう。この国が戦争を経て、唯一得たものがあるとすれば、それは「人間から人間らしさを奪い去る『狂気の沙汰』という醜い感情だけである。今年の秋、修学旅行で訪問する予定だった沖縄県には『平和の礎(いしじ)』というものが置かれている。その礎(いしじ)には、日本人・アメリカ人・イギリス人・台湾や韓国人など、戦争で亡くなった人の名前が刻まれている。その数、24万1281人にのぼる。これらの人たちが、現代に生きる私たちに、戦争の憎さ、愚かさを伝えてくれている。終戦から76年が経ち、実際に戦争を体験した人たちが減ってきている。そして、戦争の話を聞ける機会も少なくなっている。二度と同じ過ちを繰り返さないためにも、これから生きていく私たち若者が、戦争の恐ろしさ・醜さ、そして愚かさを十分に認め、後世(こうせい)に伝えていかなければならない。それが、今を生きる私たちに課せられた使命なのだとは強く思う。ご静聴ありがとうございました。



謝辞 牛山裕子会長

戸丸さん、水田さんすばらしいご講演ありがとうございました。多分水田堅さんが川崎の空襲の話をしておりましたが、この中にもあの頃のご記憶がある会員がいるはずです。本当にお二人のおっしゃる継続をすることが大切、継続は力です。水田さんがおっしゃる絶対に戦争をしてはいけない、これも若い方々が思っ頂かなければならないことだと思います。ありがとうございます。そして先生方ありがとうございます。



●閉会宣言並びに点鐘 牛山裕子会長

日時：2021年11月10日(水)は  
**11月11日(木)**に変更。

「3クラブ合同親睦夜間移動例会」

18:30点鐘

場所：川崎日航ホテル12F 鳳凰の間

日時：2021年11月17日(水)は  
通常例会です。

「ロータリーの友精読」

クラブ  
委員会

河本 正茂／八尋 匡彦／船山 佳則／笹沼 裕丈